

X 20th PHASE

記 録



20th PHASE

芸術は
出会いから
はじまる

野外彫刻プロムナード20周年記念事業
～20th PHASE 芸術は出会いからはじまる～ 記録

発行 野外彫刻プロムナード展振興運営委員会
発行日 2021年8月
監修 宇納一公
編集/デザイン 梅本洋子
事務局 知立市 都市整備部都市計画課
知立市広見三丁目1番地
TEL:0566-95-0129

本書の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転写することを禁じます

野外彫刻プロムナード20周年記念事業

〔 知立ライオンズクラブ創立55周年・知立市文化会館開館20周年・知立市制50周年 〕

はじめに

令和元(2019)年9月で、パティオ池鯉鮒野外彫刻プロムナード展は開催20回目を迎えました。

野外彫刻プロムナード事業は、パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)のエントランスロードを中心に、県内の芸術系学部学科を有する大学の若手作家の作品を展示し、多くの方に鑑賞してもらう機会づくりとして始まりました。現在に至るまでに展示してきた120点を超える作品は、知立市のまちなみの一つとして、皆様に楽しんでいただけていると思います。

20周年記念事業を実施するにあたり、より多くの皆様に芸術作品とのふれあいを通して、さらなる親しみを感じていただけることを願い、「芸術は出会いからはじまる」をテーマに、様々な事業を実施しました。

20周年記念事業は、市内外を問わず、多くの皆様が野外彫刻のある風景への愛着をもつきっかけづくりや、彫刻をはじめとした芸術に出会うことができる貴重な機会となりました。

この度、芸術との出会いの記録として、記念誌を発刊いたしました。この記念誌を読み返すことで、皆様と芸術との出会いを振り返っていただくとともに、ひと・まち・芸術の関わりについて考えるきっかけになれば幸いです。

野外彫刻プロムナード展振興運営委員会

目次

はじめに	01
ごあいさつ	03-04
野外彫刻プロムナード 20周年記念事業	05-06
記念展	07-18
パティオ池鯉鮒野外彫刻 プロムナード展のあゆみ	19-20
出前授業	21-24
フォトコンテスト	25-34
セレモニー	35-36
トークイベント	37-45
ワークショップ	46-48
彫刻清掃	49-50
おわりに	51-52
記念展準備・実行委員会組織図	53-54

ごあいさつ

私ども野外彫刻プロムナード展振興運営委員会では、市民の皆さまが文化芸術に親しめる空間の創出を目的に「野外彫刻プロムナード展」を毎年開催し、2019(令和元)年、第20回の節目を迎えることができました。これも皆さまの多大なるご理解とご協力のおかげによるものと、心より厚く御礼申し上げます。

この度の第20回記念開催では、「彫刻作品と“もっとふれあう”出会いづくり」をテーマに掲げました。ここでは、「ふれあいと出会い」がキーワード。野外に設置の彫刻・芸術作品達とのふれあい、そして、それらを通じた人々の出会いこそが、産・学・民・官の架け橋となり、芸術文化の薫る魅力的な発想と新鮮な活力とが生まれてくるものと確信しております。

「野外彫刻プロムナード展」の発足当時に皆さまが抱かれた「知立市がどんな景観になるのか楽しみだなあ」「知立市からどんな芸術家が誕生するのか楽しみだなあ」との思いを受け継ぎつつ、地域への想いを高める一助になればと考えます。どうか今後も末永く私ども「野外彫刻プロムナード展」にご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

野外彫刻プロムナード展振興運営委員会 委員長 森島 秀博

このたびは野外彫刻プロムナード展20周年を迎えられたこと、また20周年記念誌の発刊、心よりお祝い申し上げます。

野外彫刻プロムナード展は、平成12年に開館した知立市文化会館パティオ池鯉鮒に、知立ライオンズクラブ創立35周年記念事業として、モニュメントを寄贈したことから始まりました。以来20年にわたり、パティオ池鯉鮒のエントランスロードの両側の歩道に彫刻作品を展示しております。

知立ライオンズクラブは野外彫刻プロムナード展に対し開催当初から継続的に運営費の一部を支援してまいりましたが、市民の皆様が少しでも芸術に触れる機会が増え、そして心豊かな知立となる一助になれば幸いです。

最後に、野外彫刻プロムナード展が長きにわたって運営されてまいりましたのは運営委員会さまのご尽力によるものと感謝いたし、今後も開催が継続されることを祈念申し上げます。

知立ライオンズクラブ 会長 神谷 潤

アートによる「ものづくり」「人づくり」「まちづくり」をスローガンに、文化会館の開館以来、そのエントランスロードで開催されてきました野外彫刻プロムナード展が、ここに20周年を迎えられましたこと誠にありがとうございます。これも、作品を提供していただいた作家の皆様はもとより、関わっていただいた皆様のご尽力によるものと感謝申し上げます。

昨今の急速な社会変化の中で、人々の生活に楽しみや潤い、精神的な豊かさや活力をもたらす文化芸術の価値が広く認識されたことで、様々な文化を受け継ぎ、発展させ、新たな文化芸術の創造や普及が市民レベル、地域レベルで求められています。

ここ知立市においても、「知立市文化芸術推進基本計画」が策定され、「知る 育む 心を結ぶ 文化芸術を身近に感じるまちづくり」という基本理念のもと、文化芸術による豊かな地域社会の形成が進められているところです。「気軽にアート作品にふれあえる空間づくり」を目指したこの「野外彫刻プロムナード展」は、まさにこの計画の「誰もが鑑賞・参加・創造できる環境づくり」に向けた事業と言えます。この事業が、今後さらに充実し、継続されることを期待するとともに、末永く多くの皆様に愛されますようお祈り申し上げます。

一般財団法人ちりゅう芸術創造協会 理事長 加藤 達

平成12年の知立市文化会館パティオ池鯉鮒の開館とともににはじまった野外彫刻プロムナード展も、この度、開催20回目を迎えました。この20年で野外彫刻プロムナード展は、知立市の特徴ある風景の一つとなり、作家の皆様思いがこもった作品は、生活の中で身近に感じられるアートとして、市民の皆様が親しんでいただけているところと思います。ご尽力いただきました野外彫刻プロムナード展振興運営委員会の森島委員長や宇納顧問をはじめ、関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

平成27年には、知立市において「彫刻のある風景づくり推進計画」を策定致しました。この計画を基に知立のまちなかに彫刻作品がさらに根付き、市民の皆様が親しめる事業となるよう市政を推進してまいります。引き続きお力添えを頂きますよう、よろしくご願ひ申し上げます。

知立市長 林 郁夫

初めの一步は「夢」を語る旗振り役がいて、それに耳を傾け様々な思いと立場の中で賛同する人脈の形成により、それが実現され更に多くの支援・協働により幅広く展開されます。文化協会は、当初から文化会館の建設・運営のあり方に関わってきましたが、先人の思いは「文化の香りのする広場」の創出でした。多様な芸術文化の中で美術分野での会館建築設計の一例が、喫茶シエロから敷石の案内でエントランスロビーを買いて、かきつばたホールの壁面に空シエロが描かれ、館内通路には、創作壁面^{(*)1}が施されています。

文化会館の開館時に懸念されていたことのひとつに知立駅からのアクセスでした。そのため駅からの分かりやすい遊歩道があり、道路沿いには樹木・花や彫刻があり、楽しみながら、のんびり歩いてきてもらいたいという提案もありました。そんな折、開館と共に、幾多の尽力により「パティオ池鯉鮒野外彫刻プロムナード展」が企画・実践され、その波及効果としてパティオ池鯉鮒館内外、東海道松並木明治用水遊歩道、各所公園・池鯉鮒散歩みち沿い等に野外彫刻が設置され文化の香りが広がり、それらが知立の文化の一つの原風景になりつつあります。その風景からの出立を機会に長年開催しています知立市美術展公募・小中学生美術展への創作意欲が深まることを思い描いています。これからの継続は、今まで以上に熱意と意欲が必要ですが、市関連部署・関連機関・団体・個人との連携を深めることにより、文化の香りが一層拡がっていくことを期待したいと思います。

最後に、旗振り役^{(*)2}の宇納一公氏元知立市文化協会会長に敬意を表します。

*1 創作壁面「起土の万葉植物形態～知立の歴史と創造より～」伊藤公象 作

*2 知立市文化会館 文化情報誌 Pario Vol.8 2002「知立と私」～夢が実った彫刻の散歩道～宇納一公より

知立市文化協会 会長 薫田 八郎

野外彫刻プロムナード20周年記念事業記念誌の発刊まことにありがとうございます。野外彫刻は、街の風物の一つとして、自然界の一部として溶け込んでいます。そして、市内のいくつものエリアにおいて、心の安らぎをいただけるのは、とても幸せなことです。

今回の記念事業でのフォトコンテストでは、野外彫刻とともに自然とマッチした大勢の人の笑顔がありました。また、小中学生が体験した「出前授業」では、多くの素材から世界に一つだけの作品が展示されました。制作過程では素材を生かし、自分の想いを表現しようと、様々な完成作品を想像して取り組んだことでしょうか。学校教育では、制作活動に加えて、彫刻をはじめとする文化芸術にこめられたメッセージを受け取り、勇気や喜び、悲しみなどの情操を育んだり、夢や希望を抱いたりするなど、心ゆさぶられる経験をしています。このように豊かな感性を育む教育はとても重要なことです。

文化芸術は、豊かな情操を育むことにあわせて、人と人の心をつなぎ、連携させる力があります。そして、過去(昨日)からの優れた伝統を引き継ぎ、現在(今日)の想いを表現し、未来(明日)を創り出し、人や時の流れに添って発展していきます。野外彫刻プロムナード展が、この輝かしい節目を契機にさらに文化芸術の創造と普及の場となることを期待しています。また、この事業に携わっていただいている皆様のご尽力に感謝するとともにますますのご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

知立市教育委員会 教育長 宇野 成佳